

ようこそ畑へ

2009年10月6日(火)、8日(木) VOL.16

白菜の収穫が始まりました。草取りのタイミングもうまくいき、今年は白菜がよい出来です。これから寒さにあたると、ますます甘みが出ておいしくなっていくと思います。楽しみです。

この白菜は「松島新二号白菜」といって、1943年（昭和18年）に発売され人気となった固定種です。最近の白菜は、交配種（F1）がほとんどで、農家で「松島新二号白菜」を作っているところはあまりないと思います。

7月16日に種を播いて苗を育て、8月8日に畑に植えました。白菜は、スペースをしっかりとって植えてあげたほうがよいと聞いたので、ゆったりと植えたところ、草取りもしやすく、白菜も元気に育ち、葉の色は淡い緑色で、太陽の光を浴びるととてもきれいに見えました。草取りを軽く2回して、あとは毎日近くを通りかかる時に見に行っていました。

気温が下がってくると、だんだん結球してきますので、9月の末からは、毎日、指で押して白菜の硬さを確かめて、「もう少しだなあ、楽しみだなあ。」と収穫の日を待ちわびていました。

これは他の野菜にも言えることですが、野菜がよくできた時、あまり「自分が作ったんだ」という気持ちにはならず、「よく育ってくれたなあ。」という気持ちになります。今回の白菜は、試しに最初の1個を採る時、思わず白菜の畑に手をあわせて拝んでしまいました。

人間の力のごくわずかです。種と土と太陽と水が、おいしい白菜を育ててくれました。本当に自然の恵みに感謝です。

伊達家の食卓

【きたあかり】

伊達家ではジャガイモを3種類作っています。

「きたあかり」（自家採種5年）

「男爵」（自家採種2年）

「メークイン」（自家採種5年）

今週は「きたあかり」をお届けします。

粉ふきいもにするのが味がよくわかるのでおすすめです。煮崩れしやすいので、ポテトサラダ、コロッケに向いています。

【ズッキーニ、ナス、ピーマン、トマト】

豊滝はそろそろ霜が降りる時期です。雪虫も飛んでいました。

なりもの野菜は霜にあたると枯れてしまい、収穫が終わりになります。一方、霜がおりると大根や白菜の甘みが増していきます。

自然はうまくできていると思います。